

令和元年度病害虫発生予察指導情報

対象病害虫：ナシ黒星病 (No. 8)

令和元年5月1日
鳥取県病害虫防除所

表1 病落葉からの子とう胞子飛散状況 (調査地点：鳥取県園芸試験場)

単位：個

月・半旬	静置式			(参考) 吸引式	
	令和元年	平成30年	平年 (H21~30)	令和元年	平成30年
3・5	0	0	-	19	0
3・6	0	0	0.1	11	0
4・1	0	0	0.1	0	12
4・2	0	0	2.5	30	4
4・3	0	0	3.8	44	6
4・4	0	0	1.2	17	0
4・5	0	1	2.6	312	14
4・6	0	0	1.6	21	0
5・1		0	0.7		1
5・2		0	0.6		0
5・3		0	0.4		0
5・4		0	0.5		0
5・5		0	0		0
5・6		0	0		0

注) -は欠側。静置式は従来式調査方法。吸引式は試験中の改良型調査方法。

表2 果(花)そう基部病斑からの分生胞子飛散状況 (調査地点：鳥取県園芸試験場)

単位：個

月・半旬	令和元年	平成30年	平年 (H21~30)
3・5	6.6	4.2	-
3・6	14.6	0*	5.5
4・1	1.7	9.1	7.5
4・2	27.4	14.9	5.5
4・3	0	1.1	9.2
4・4	1.3	0*	3.5
4・5	195.4	69.0	10.9
4・6	64.7	0*	5.5
5・1		13.8	1.5
5・2		0	2.1
5・3		5.6	1.4
5・4		17.2	12.1
5・5		4.2	61.0
5・6		0.0	13.6

注) -は欠側。*は無降水のため調査未実施。

<情報の内容>

4月第6半旬調査結果

- ・病落葉からの子とう胞子の飛散は、静置式は認められなかったが、吸引式は認められた。
- ・花そう基部からの分生胞子の飛散量は、平年に比べて多かった。

<参考>

- ・子とう胞子採集方法
病落葉(前年採取)上に設置した静置式胞子採集器内にグリセリンゼリーを塗布したスライドガラスを静置(24時間)し、スライドガラスに付着した胞子数を調査した。
- ・分生胞子採集方法
雨滴法(ロートを罹病した腋花芽の下に設置)により採取した雨滴中の胞子数を降雨日ごとに調査した。